

第5回「すーふぁむ落語会」開催

2022年2月5日（土）15時開演 16時30分終演

横浜にぎわい座のげシャーレ（小ホール）（横浜市中区野毛町3-110-1）

出演：三遊亭萬橘、三遊亭しゅりけん（前座）、来場者約50名



これまで主催してきた「大人の文化祭 フェス」では、会場である横浜市開港記念会館の講堂ステージを使って「ピアノと朗読のコンサート」や「街角ピアノ」などの音楽演奏、「講演・トークショー」のほか、時々「落語会」も開催してきました。その名も『すーふぁむ落語会』。

今回は、この落語会のみ独立させ「横浜にぎわい座のげシャーレ」をお借りし、第5回として開催しました。寒さはきびしいけれど晴天に恵まれた当日、運営側・来場者含めて約60名での盛会となりました。

前年に続きコロナ禍での開催は万全を期して準備を進めましたが、出演予定だった三遊亭兼好師匠がコロナ陽性となってしまい、急遽代演での開催となりました。兼好師匠は症状も軽く、すでに回復されていましたが自宅待機。検査が混んでいて結果が出るまでに日数がかかり陽性判定が出たのは開催4日前。

三遊亭萬橘師匠による代演で開催へ

急遽、手配をお願いして弟弟子（おとうと弟子）の三遊亭萬橘師匠に代演のご協力をいただくことができました。

変更によるキャンセルも予想されたため、予約の皆様へ連絡をとり事情をご説明、そうしているうちに運営側スタッフにも家族が濃厚接触者となるなど、当日欠席の方が数名発生という、厳しい状況でした。

そんな中で、どうにか開催にこぎつけましたが、緊張感が擦り切れるような4日間でした。

運営にご協力いただいた、たくさんの皆様、ありがとうございました。開催にご理解いただき、ご来場いただいたお客様、運営に参加いただいた皆様、高座設営から音源・照明までご協力いただいた「group 噺道楽」の皆様、チラシ配架にご協力いただいた皆様、受付や客席設置、終了後のイス消毒などにご協力いただいた皆様、本当に本当にありがとうございました！

本来、落語会はラフにカジュアルに、気軽に楽しんでいただくものですが、「こんな状況の中、無理を押しつけてまで開催すべきなのか」「自分のわがままで周囲を振り回しているだけではないのか」と悩むこともありましたが、開催できてよかったです。

お客様の笑い声が響く舞台裏で、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

楽しい気分を「笑い」とともに皆さんと共有できる「落語会」。こんなときだけど、いや、こんなときこそ、やっぱり開催してよかったですと思いました。

「いつもの日常」「ふつうの暮らし」をこれからも全力でキープしていきたい。そのためにも、元気を補給する「笑い」は大切だと感じています。

藤原寿子

※コロナ禍での開催のため、県の規定にそって、手指消毒、検温、連絡先提出、マスク着用の徹底、途中休憩での換気、ソーシャルディスタンスの確保、大声での会話を避ける、飲食の制限など、周知を行いました。



にぎわい座のげシャーレ（小ホール）





←代演の貼りだし ↑開演挨拶



←3月から二つ目昇進の前座（三遊亭しゅりけんさん）



三遊亭萬橘師匠と
パチリ

